声かけて　みんなで守ろう　わが地域

中川区中島学区
震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、中島学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。

この震災避難行動マップをもとに、“いざ”という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

津波避難ビル

①	中島小学校（北校舎棟）	⑨	中川住宅５号棟
②	中島小学校（南校舎棟）	⑩	中川住宅６号棟
③	高杉中学校（南校舎棟）	⑪	中川住宅７号棟
④	中島荘１棟	⑫	第２高杉マンション
⑤	中島荘２棟	⑬	第３高杉マンション
⑥	中島荘３棟	⑭	第５高杉マンション
⑦	中島荘４棟	⑮	市立工業高校
⑧	中川住宅４号棟		

【中島学区の避難方針】

①津波の恐れがある場合
大津波警報が発表されたら、できるだけ早く想定浸水区域から離れるか、間に合わない場合は、近くの津波避難ビル（左表）へ避難しましょう。

②津波の恐れがない場合
各町内会の一時集合場所へ集合し、必要に応じて避難先へ移動しましょう。

＜各町内の避難方針＞

高杉町	高杉中学校へ	法華町	法華公園から中島小学校へ
中川住宅 第１・第２・第３	上層階へ	中島荘	上層階へ
中島西部 １・２ブロック	中島中央公園から中島小学校へ	広田・草平	中島小学校へ
中島西部３ブロック、中島中部	中島小学校へ	中島東部・北部	どんぐり広場または裏畑公園から中島小学校へ
中島本町・東中島町・東中島１・２	中島小学校 または市立工業高校へ	大塩・平戸	中島小学校 または市立工業高校へ

（お願い）自宅の被害が少ない場合は、なるべく自宅で生活しましょう。高齢者や障がいのある方など移動に時間のかかる方は、地域で協力して避難できるよう申し合わせておきましょう。

気を付けて!!

1. 空き家
耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり

2. 古いブロック塀
大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない

3. 狭い道
近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり

4. 電線（高圧線）
切れた電線は停電時でも感電の危険があります。絶対に近づかない。また、高圧線の落下にも注意

町内会の一時集合場所

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

知っておこう！お住まいの地域の高さ ～海抜表示について～

名古屋市では、津波の影響が心配される地域に海抜表示を実施しています。普段からお住まいの地域の海抜を意識しておき、いざという時、迅速に避難できるよう備えておきましょう。

⇐街路灯への海抜表示

市有施設・一部の民間施設への海抜表示⇒

避難所

(1)	中島小学校
(2)	高杉中学校

役に立つもの

1. コンビニエンスストアなど

このステッカーの貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗です。スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援協力が得られます。

2. 公衆電話
NTT が設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし、国際電話は使えません。

3. 災害救援自動販売機
対象となる自動販売機には、停電時でも飲料提供ができることが説明された看板がついています。

4. 下水道直結式仮設トイレ
マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。

このマンホールが目印です→

寺山公園
一時集合場所

凡例

広域避難場所	主として地震火災が延焼拡大した場合に、周辺地域の避難者が身を守るための空間を有している公園等です。	避難所	家屋の倒壊などにより住居に被害を受けた方、あるいは被害を受けるおそれのある方を、一時的に受け入れ、滞在させるための施設です。
		一時避難場所	広域避難場所へ避難する際、一時的に避難して火災の様子を伺う場所です。火災から避難者を守るための空間を有している公園等を指定しています。

津波避難ビル	地域防災協力事業所	公衆トイレ	公衆電話	防災スピーカー
一時集合場所	下水道直結式仮設トイレ（マンホールトイレ）	地下式給水栓	井戸	
防災倉庫	AED（自動体外式除細動器）	応急給水施設	避難経路の例 / 学区境	

作成：中川区中島学区　作成支援：中川区役所／中川消防署／認定 NPO 法人レスキューストックヤード　監修：秀島栄三（名古屋工業大学大学院教授）　作成日：平成 28 年 3 月　※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

中川区中島学区　災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い**震度６強**の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。また、**およそ２～４時間後に当地区は津波による浸水**で覆われます。この時間を最大限に使い、河川から遠ざかるようにして高台か間に合わない場合は津波避難ビルへ避難しましょう。さらに、**液状化現象**が起きる可能性も高い地域です。建物や電柱が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し道路が陥没することがあります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！　災害時の対応

揺れた

- 身の安全の確保
  - 頭を守り揺れがおさまるまで待つ
  - 安全に消せる場合は火を消す
  - 家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意

丈夫な机がない時は、クッション、かばん、ナベなど身近にある物で頭を守りましょう

安全にすばやい避難行動をとるためにも、**自宅の耐震化や家具転倒防止対策**は日頃からしっかり進めておきましょう

揺れがおさまった

- 火が出たら初期消火
- ガスの元栓を閉める・ブレーカーを落とす
- 怪我をしないように靴やスリッパをはく
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- 出入り口の確保
- ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手
- 非常持ち出し品の準備

地域には、町内会・自治会単位に結成された自主防災組織があり、災害時に初期消火・救出救護等の活動を行います。
地域の被害を小さくするため、自主防災組織の活動にご協力をお願いします。

大津波警報発表

高台や津波避難ビルを目指して避難開始

津波から安全に避難するための５つのポイント

❶揺れが収まったら高台へ。時間が無ければ津波避難ビルへ避難！

❷原則徒歩で避難！

❸高齢者や障がいのある方などの避難誘導を！

❹引き返さない。安全確認が済むまで避難継続を！

❺海岸や川沿いは絶対に近づかない！

津波警報解除
避難勧告解除

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か

○ → 在宅避難

× → 避難先へ

津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ 数値での発表（津波の高さ予想の区分）	発表される津波の高さ 巨大地震の場合の発表	想定される被害と取るべき行動
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超（10m<予想高さ） 10m（5m<予想高さ≦10m） 5m（3m<予想高さ≦5m）	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m（1m<予想高さ≦3m）	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m（0.2m≦予想高さ≦1m）	（表記しない）	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

一人では逃げるのが難しい方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げるのが難しい方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

（例えばこんな方）

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

（対応方法）

優しい言葉でゆっくり声かけ

メモや、身振り手振りで伝える

移動が難しい方

（例えばこんな方）

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

（対応方法）

複数で手伝う

身近にあるものを利用する

避難の時の豆知識　非常持ち出し袋を準備しましょう！

避難する時に持っていくもの

防災用品
- □ 携帯ラジオ
- □ ヘルメット・防災ずきん
- □ 軍手
- □ マスク

貴重品
- □ 現金（小銭も必要）
- □ 預（貯）金通帳の写し
- □ 健康保険証・免許証の写し
- □ カード類
- □ 認印・印鑑など

照明等
- □ 懐中電灯（電池含む）
- □ マッチ・ライター

医療用品
- □ 三角きん
- □ 包帯・ガーゼ
- □ ばんそうこう
- □ 消毒薬
- □ ウェットティッシュ（ティッシュ）
- □ お薬手帳の写し

食器類
- □ はし・スプーン
- □ 紙皿・紙コップ

便利用品
- □ 筆記用具
- □ 新聞紙
- □ 携帯用トイレ
- □ ゴミ袋
- □ キッチン用ラップ
- □ 使い捨てカイロ
- □ 雨具
- □ 手動携帯電話充電器

衣料品
- □ 衣類（着替え）
- □ タオル（大小２種類）

日頃から水や食料を準備しておきましょう。めがね・入れ歯・持病の薬も忘れずに！

住民からのメッセージ

地域のつながりが身を守る

ひとりひとり、自分のとるべき行動を考えよう